

道連ニュース

2023年10月号 No.202

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

今年も開催!

コープさっぽろ

食べる・たいせつフェスティバル2023

食べることの大切さや環境・暮らしについて楽しく学ぶことができる「食べる・たいせつフェスティバル2023」を、今年も北海道8会場で開催! 8~11月で旭川、北見、函館、室蘭、帯広、苫小牧、札幌、釧路の順で開催していきます。すでに開催を終えた会場では、昨年を上回るたくさんのご家族連れで大変賑わいました。地元の生産者様やメーカー様、行政などにご出展いただき、様々な体験を通してプログラムに参加することで、食育の学びを深め、地産地消の大切さを伝えることができるコープさっぽろ最大の食育イベントです。

トです。コーヒーから石鹸を作ったり、きのこ収穫体験など、各出展者様の趣向を凝らした体験に、子どもたちは目を輝かせながら楽しく学んでいます。

また、室蘭・札幌会場では、体験企画に参加するともらえるオリジナル仮想通貨「トドル」をお子さまにお渡しし、会場内にある「食べフェス店」にてお菓子や、飲み物と交換もできる取り組みも、4年ぶりに再開いたします。食べる・たいせつフェスティバルについて詳しくは、ホームページ「食べる・たいせつフェスティバル2023」で検索でもぜひご覧ください。



レジ打ち体験



人気スポットの顔はめパネル



きのこ収穫体験

北海道・上川地区・網走四地区

学校生協との懇談会を開催いたしました

9月1日(金)、北海道生協連は、北海道クリスチャンセンター(札幌市北区)において北海道(五十嵐専務理事)・上川地区(吉越常務理事)・網走四地区(水嶋常務理事)の3学校生協様にお集まりいただき、懇談会を開催いたしました。懇談会のテーマは、①定款や規則・規約、総代会や理事会等の機関運営のガバナンス強化、②事業強化に向け、大学生協が取り扱う斡旋事業を学ぶとして開催いたしました。

大学生協を学ぶでは、大学生協事業連合北海道地区の小助川会員支援部長にご協力いただき斡旋事業の交流、店舗見学などをさせていただきました。その後、

次年度総会に向けた3学校生協の総代会準備、今後の課題などについて認識共有を行い、懇談会は終了いたしました。



ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト活動報告

参加者
350名

～『ママ・パパ応援！
みんなのウェルネスふえすた in おたる』～

日時：8月26日(土)11時～16時 場所：ウイングベイ小樽「5番街1F 済生会ビレッジ」

【主催】

小樽済生会病院・しんぐるまざあずふおーらむ北海道・株式会社 FUJI・
株式会社小樽ベイシティ開発

【協力企業・団体】

ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト・こくみん共済 coop 北海道推進本部・
NPO ボラギャング・北海道労働者福祉協議会後志ブロック・他



このイベントは、「ママ・パパ応援」をテーマに、子どもから大人まで楽しめるイベントを小樽で開催する為当日の運営支援を学生プロジェクトにお願いしたいと、「しんぐるまざあずふおーらむ北海道」より支援要請があり、参加することとなりました。

当日は地元的新鲜なお野菜や果物などの販売の他、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から間もなく5年が経過、自然災害から身を守る為の、防災意識を高める活動の一つとして「遊んで学べる防災ワークショップ」を担当し、多くの子ども達がお父さん、お母さんと一緒に参加し、イベントは盛況のうちに終了することができました。



子ども達と一緒に防災手帳作成や、牛乳パックでホイッスル作り、親子で遊んで学べるワークショップの様子。



「無料の豚汁炊き出しコーナー」
100食分を学生メンバーで調理、配食しました。



LPガス懇談会開催されました

経済産業省資源エネルギー庁は、9月1日オンラインで「北海道地方LPガス懇談会」を開催しました。懇談会には消費者団体・北海道生協連・学識経験者・事業者団体・行政担当者などが参加。割高なLPガス料金の背景に、オーナー建設会社等からのLPガスに関係のない無償貸与設備の費用が盛り込まれていることが明らかになってきたことで液化石油ガス流通ワーキンググループでの省令改正の論議がなされています。

北海道生協連から商慣行是正の実効性の確保を提案

北海道生協連からは、法改正の実効性の確保に向けて、「検査推進体制の強化」「省庁間連携の推進」「マスコミへの情報提供による世論づくり」について提案し、8月3日関東地区の1都10県のLPガス協会が出した「取引適正化」についての共同声明を「北海道LPガス協会も出して欲しい、エネ庁に対して駆け込みの過大投資強要

で良心的な事業者がエアコン・ドアフォンなどLPガスに関係のない設備の無償貸与を迫られている、救済策を経過措置期間含めて検討して欲しい」と提言しました。

北海道LPガス協会前向き回答とエネ庁の北海道の取組の評価引き出す！

事業者委員の北海道LPガス協会鉢呂会長は「LPガスが選ばれるためには、過剰投資を排除しなければならない」「透明化・適正化を引き続き会員に周知徹底していく」と強調、共同声明についても「協会内で十分に協議し前向きに検討したい」と回答。全体を通じてエネ庁目黒室長補佐は、「北海道の情報発信から始まった商慣行是正の取組は、実効性確保の論議まで発展してきた」引き続き今後の進展についてもチェックを続けて頂きたいとの挨拶がありました。LPガス問題の取組は着実に前進してきています。